石川高専だより

No.104
2023/07

National Institute of Technology (KOSEN), Ishikawa College

CONTENTS

01　令和5年度 入学式
03　新入生の声
05　1年生合宿研修／1年生学級担任メッセージ
07　学科・専攻科だより
10　学生相談室だより
11　令和4年度 卒業証書・修了証書授与式
12　MESSAGES from 卒業生・修了生
14　令和4年度 進路状況
15　退職に寄せて／新任教員紹介／人事異動
17　国際交流だより
19　NEWS&TOPICS
20　2023年度 行事予定／こども石川高専
21　令和4年度 活動の記録／令和5年度 学生役員
22　DATA BOX 2023
　　石川高専のたからもの

令和5年度 入学式

令和５年4月５日、令和5年度入学式を挙行しました。

式では、嶋倉校長から入学許可宣言が行われ、本科入学生217名を代表して環境都市工学科の亀井宥利さん、専攻科入学生30名を代表して電子機械工学専攻の河合恭佑さんが宣誓を行いました。

宣誓者からは、それぞれ「私達は、本校創立の精神にのっとり、学則及び諸規則を守り、学生としての本分をまっとうすることを宣誓いたします。」と決意が述べられました。

入学生達は、緊張と喜びに満ちた表情を見せながら、新しい学校生活をスタートさせました。

入学式 告辞

入学生のみなさん、ようこそ石川高専へ。また、ご家族関係者の皆様、本日は誠におめでとうございます。

今日ここに令和５年度の石川工業高等専門学校入学式を挙行できますことは、私ども教職員及び在校生一同の大きな慶びです。ご臨席の皆様方に対し心から御礼申し上げます。

本年度は、第1学年に入学する212名、編入学する５名、うち留学生４名、専攻科に入学する30名、合計247名の入学生を迎えることになりました。

石川高専は、我が国の発展のために不可欠である、産業技術と社会を支える実践的創造的な技術者を養成するための、国が設置する全51校の国立高専の一つです。昭和40年に自然豊かな石川県津幡町のこの地に設立されて以来、9000人を超える卒業生の先輩方は、産業や行政、あるいは教育研究など様々な世界で活躍され、科学技術創造立国を担ってこられました。

さてここで、入学生の皆さん。冒頭、私は、皆さんにはおめでとうとは言いませんでした。気付かれたでしょうか。

高専は本科の5年間で、高等学校から大学学部の7年間に匹敵する教育を行いますが、そのカリキュラムは社会の信用を勝ち得た数多の卒業生の教育実践に裏打ちされたものです。教職員が皆さんをしっかり支え導くことはもちろんですが, 同じ日に入学を迎えた多くの仲間が助け合い切磋琢磨してくれます。上級生たちも学業や

課外活動を通じて模範となったり助けとなったりします。地元石川県の企業や自治体などの多くの方々も、皆さんの志と未来に期待して、実践や研究の場や機会、あるいは貴重な資金の提供などで学びを支えてくれます。

また国の政策レベルでも、皆さんがこれからの社会変革をリードする人材になることを期待して、例えば，従来の専門分野の知識・技術と世界標準のデジタルマインド・スキルを併せ持った産業界を牽引するＤＸ人材を育成する事業、また、高専生の高い技術力、社会貢献へのモチベーション、そして自由な発想力を実践的なチャレンジに繋げるスタートアップ教育の事業などなど、様々な支援策が講じられます。

本校に入学するということは、技術者として社会を担うという皆さんの未来に大きな期待が寄せられ、その実現を目指す皆さんの努力には様々な方々からの多大な支えや助けがある、そういう環境を得るということです。専攻科入学生の皆さんならその素晴らしさを実感し、その活かし方も十分に考えておられることでしょう。

そういう意味で申し上げます。入学生の皆さん、おめでとう。

さてここで皆さんにお願いしておきたいことがあります。実践的創造的な技術者への期待というのは、地元石川県そして我が国の人々の期待です。

少子高齢化の進展などの社会変化に相まって、技術で社会の期待に応えるということの意味もますます複雑なものとなっています。例えばSDGsとひとまとめに呼ばれる諸課題もその内容は多岐にわたり、状況に応じて様々な次元の対応が必要です。あるいはSociety5.0で社会のあらゆる場面を便利に豊かにすることを目指すなら、人へのやさしさを兼ね備えることも必須です。革新的技術も人々に安心して善いものと受け止めてもらえなければ、社会実装に繋げることは困難です。

みなさんには、これからの時代の技術者として、専門とする領域だけでなく他の技術領域についても知見を深めることは当然、社会制度の意義なども理解し、究極的には人の心や願いにも想いを致して、本当に喜ばれる技術を創造し社会実装していく技術者になってほしいのです。そのために，本校で技術者としての専門知識・技術を学ぶとともに、課外活動なども含め様々な活動、体験、試練を通じて、人としての感性を育て、他者の心や願いを理解できるよう、心がけてください。

さて、我が国の高専の制度は、社会を担う技術者養成の仕組みとして諸外国からも関心を寄せられていますが、今年もマレーシア、マリ、モンゴルから計4人が編入生として留学してくれました。言葉も環境も違う日本で勉強することは大変なことだと思いますが、早く多くの友人を作り津幡の生活にもなじんで、思い切り日本の生活を楽しんでください。将来は、皆さんの国と日本の技術交流、文化交流の懸け橋となってくれることを希望いたします。

専攻科に進学した30名の皆さん、これからの2年間、本科で培った基礎の上に、より深い専門性と複数の専門領域にまたがる複合的視野を学び、将来、人間性豊かなイノベーションを実現していく総合技術者として活躍できるよう、さらに自らを鍛えてください。

世界が翻弄されてきたコロナ禍も、ついに対策や規制が緩和される段階になりました。苦しい、悲しい経験をされた方も多いでしょうし、以前の生活に単純に戻れるわけでもありませんが、可能なペースで取り戻していきましょう。また、せめて、この間に普及したリモートの手法等のメリットをプラスアルファとして活かすことも考えてください。

最後になりましたが、どうか本日の感激を忘れず、みなさん一人一人の夢の実現のため、自分の可能性を信じて、志を高く持って、高専生活を過ごしていただきたいと思います。

また、ご家族関係者の皆様方に改めてお祝いを申し上げますとともに、家庭と学校の密接な連絡を保ち、本校への積極的なご支援とご助言をお願い申し上げます。

重ねて、本日入学される皆さんをお祝いし、校長告示といたします。

令和5年4月5日
石川工業高等専門学校長　嶋倉　剛

新入生の声

NEW STUDENTS' VOICES

世界でも活躍できるような
人となりたい

高専で頑張りたいこと　1M 中村 柑太

「天才とは1パーセントのひらめきと99パーセントの努力である」発明家エジソンの言葉だ。だが、私はエジソンの言ったこの一言は間違っていると思う。なぜなら私は天才というものは100パーセントの努力でできていると思うからだ。天才はたくさんの努力と、ひらめきがあるから天才と呼ばれるのではない。ずっと努力してきたからこそ天才と呼ばれているのだと思う。私はエジソンの想像を超えた100パーセントの努力でできた人となりたいと思う。そして、高専で過ごす5年間で様々な資格を取り、経験値を積み世界でも活躍できるような人となりたいと思う。今はまだ目標を達成できてはないので、これから一歩一歩私の思う天才へと近づけるようにしたいと思う。

「電気」という面で
社会に貢献できる
エンジニアになりたい

目標に大きく前進できる5年間にしたい

1E 新保 海瑠

私は、「電気という面で社会に貢献できるエンジニアになりたい」と思い、石川高専に入学しました。石川高専の魅力に、１年生の時から専門的な学習ができる事があります。１年生のうちでできることはあまり多くありませんが、しっかりと勉強をしていって、自分ができることを増やしていきたいです。

入学して数か月ほど経って、私はこの石川高専に入学してよかったなと思っています。自分で考えて行動しないといけないことも多々ありますが、「やりたい」と思ったことを実行しやすい環境が整っているなと感じました。

これからの５年間でたくさんのことに挑戦していき、入学前に掲げた目標の実現に大きく近づけるようにしていきたいです。

立派なプログラミングマスターに
なれるようにがんばります！

個性的な仲間と専門分野のスキルを磨く

1I 大貫 健

私は、自由な校風、プログラミングなどの専門的な知識が学べる環境に好奇心を抱き、石川高専への入学を決意しました。

入学前は「早くに進路を絞ってしまって大丈夫だろうか」、「私以上の変わり者がいるのだろうか、クラスメートと話は合うのだろうか」と不安になることもありました。

しかし、入学してみると、個性の強い仲間と出会うことができ、進路に関しても、様々な大学に編入学できることを知り、私の心配は杞憂に終わりました。

私は、これからの高専生活で、楽しみながらプログラミングスキルを磨き、立派なプログラミングマスターになれるようにがんばります。

これからの高専生活　1C 四蔵 和斗

これからの高専生活
頑張っていきたい!!

こんにちは!!1Cの四蔵です!!寮生です!!バドミントン部入りました!!今年無事に石川高専に入学することができたのですがとても楽しいです!!春休み中には少ししか勉強してないのでついていけるか不安ですが毎日の予習復習を欠かさずしていきたいと思います!!学校では面白い友達が沢山いて、優しい先輩もいて、寮では快適に過ごせていて毎日最高です!!また、石川高専はとても広く、「〜の教室に集まってください」と言われてもすぐには分かりません!!迷子になります!!他に、教科書が多いので、使わないと思う教科書をロッカーに入れたりしますが、課題などで使う教科書をロッカーに置いてきたと分かった瞬間「やらかした!!」ってなります!!これから高専生活頑張っていきたいと思います!!

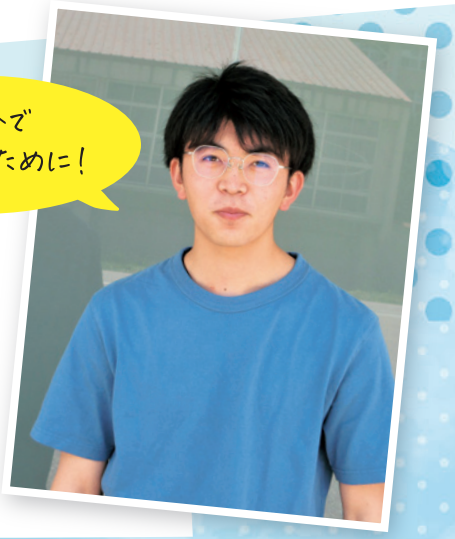
面白い人がたくさんいて
毎日が楽しいです!

楽しい高専生活　1A 川原 烈王

僕は学校が始まる前、知っている人が少ないという不安や、新しい環境でやっていくことに緊張していました。しかし、そんな不安や緊張が嘘のように楽しく学校生活を送れています。ほかの地域から来た個性豊かで、面白い人がたくさんいて毎日が楽しいです。一コマ90分の授業や、専門科目でトレースなど今までやったことのなかったことを実際に行い、新生活の始まりを実感しました。今後は、球技大会や紀友祭などの学校行事もたくさんあります。クラスのみんなとは、そういった学校行事や一人では困難な学習の面で、手を取り合って一丸となり頑張っていきたいです。

専攻科に入学して　1EM 小泉 諒真

社会で
自立するために!



私は石川高専の電子情報工学科を卒業し、専攻科の電子機械工学専攻に入学しました。専攻科では、より高度な知識や研究技術を学ぶ機会を与えられ、自身の専門領域における深い研究に取り組むことができます。さらに、本科では他の学科だった学生とも一緒に講義を受けるため、互いの交流の機会が増えます。これにより、異なる専門分野の学生との意見交換や連携を通じてより幅広い分野の知識・視野を得られると考えています。2年間という専攻科生活は時間的に限られていますが、自身の成長のための努力を惜しまず、更なる専門性と創造性を培い、将来のキャリアに繋げていきたいと思います。

社会に出て活躍できるように
人としても成長していきたい

専攻科で頑張りたいこと　1AC 吉田 千倖

私は、本科で学んだ知識を深め、より幅広い分野について学び、新たな知識を深めたいと考え、専攻科に入学しました。勉強内容がより広範囲で専門的になることは不安ではありますが出身学科関係なく協力して仲を深めたいと思っています。

私は、自分に自信がなく、自分の意見を話すときに緊張してしまいます。専攻科では授業中のグループワークや長期インターンシップ、学会発表など自分の意見を発信する場で自信をもって話せるよう、日頃から授業や研究に意欲的に取り組みたいと考えています。

2年間の充実した学生生活を送り、社会に出て活躍できるように人としても成長していきたいです。

1年生 合宿研修

1日目

9:30 学生主事講話
10:30 入所オリエンテーション(動画視聴)
12:20 本校出発
13:10 能登青少年交流の家到着
13:30 野外活動 ディスクゴルフ／アーチェリー
オリエンテーリング／カッター
17:00 入浴
17:30 夕食
18:00 学科別ミーティング
22:00 就寝準備
22:30 点呼・消灯・就寝

2日目

6:00 起床
7:00 フレッシュタイム
7:20 清掃
8:00 朝食
9:10 校歌解説、高専の歴史
10:20 研修感想・
アンケート記入
10:30 退所式
10:45 退所

学級担任メッセージ

電子情報工学科 担任 川畠 嘉美

合宿研修では「面白がる/sense of wonder」という一言をみなさんに届けました。水が半量のグラスを「半分もある」と見るか「半分しかない」と見るか。一つの絵を「壺」と見るか「向き合う二人の顔」と見るか。人間が見る景色と昆虫や鳥が見る景色は違います。世界は捉え方次第です。視点を変えたり、やり方を工夫したりして自分から対象を「面白くする」試みも大切です。どうか、みなさんが「面白がって」高専生活を過ごせますように。

機械工学科 担任 小林 竜馬

私の座右の銘は「二兎を追う者は三兎を得る」です。色々なことに挑戦しているとそれ以上の成果が得られるという意味です。歳を重ねると生活に新鮮味がなくなっていき、時間の経過が早く感じるようになると言われていますが、常に新しいことに挑戦し続けている限り、毎日が新鮮で、時間の経過が早く感じるようにはなりません。何もしなければ人生はあっという間です。皆さんには「人生長すぎ！」と思えるような濃密な人生を送ってほしいと思います。

環境都市工学科 担任 西村 知修

ご入学おめでとうございます。高専生活にはそろそろ慣れてきたでしょうか。勉強以外にも部活や学生会活動や趣味など様々なことを頑張れる環境が石川高専にはあると思います。しかしそのような環境を活かすかどうかはみなさんの自由です。活かさないのも自由です。こう考えると自由という言葉は結構怖いものだと思います。いい意味で皆さんが自由に向き合えることを願っています。

電気工学科 担任 森田 健二

ご入学おめでとうございます。学校生活にも慣れてきた時期ですが、毎日の勉強は大変だと思います。定期試験で満足できる結果になるように、日頃の予習・復習の習慣をつけるようにしましょう。

自分の興味のあることを見つけて挑戦するのも良いことだと思います。有意義で充実した学校生活がおくれるように祈っています。

建築学科 担任 北田 耕司

中学時代をコロナ禍で過ごしたみなさんは、多くの活動に制限がかかりました。中学から大学年齢で経験することはその後の将来の幅を広げます。この石川高専で中学時代に経験できなかった多くのことに挑戦してみて下さい。行動し、経験することは楽しいことばかりではありません。時には嫌なことや苦しいこともあります。それに対応していくことがみなさんの将来の武器となるのです。高専時代の自発的活動と経験がこれからの人生の礎となります。

学科・専攻科だより

機械工学科

学科主任　堀 純也

今年度は、新1年生43名と、3年生にマレーシアからの留学生1名を迎えました。1年生では早速、機械基礎製図Ⅰや機械工学基礎などの専門科目が始まっています。機械実習工場では、平浩一技術職員が着任し、実習や実験などで学生の指導に加わっています。

●学生の生活

5月には、同学科会「はぐるま会」新入生歓迎会が4年ぶりに対面で行われ、機械工学科の学生、教職員が一堂に会しました。ドッジボールやフォトラリーなどのレクリエーションを通じ、学年を超えた交流ができました。また、機械工業見本市金沢（ＭＥＸ金沢）を、2、4年生が見学しました。学生達は、企業ブースを訪問し、積極的に質問をしていました。

4年生は、夏季学外実習に向けて準備中です。今年度は、対面での実施を予定する企業がほとんどです。ものづくりの現場に直接触れ、大きく成長することを期待しています。５年生は卒業研究に着手しています。研究を通して、自分で問題を発見し解決する力を養ってほしいと思います。

●進路状況

今年度の5年生は、就職希望21名、進学希望18名です。企業の求人意欲は引き続き高く、産業界のあらゆる分野で機械系エンジニアが求められています。高専卒業生は、理論と実践を身に付けており、主体的に物事に取り組むことができるため、企業から高く評価されています。職種は設計開発から生産技術、サービスまで多岐に渡ります。人材不足と、高専生の評価の高まりにより、初任給や諸手当が大幅に上昇しています。学生には、採用面接で自信を持って自己PRできるよう充実した高専生活を送り、企業に選ばれる人物になってほしいと思います。

進学は、専攻科の推薦入試を皮切りに、各大学での入試も始まりました。全員が第一希望の大学に進めることを期待しています。

電気工学科

学科主任　上町 俊幸

今年度の電気工学科は、43名の新入学生と、マリからの留学生1名、4年次編入学生1名を迎えました。新1年生は、元気に高専生活をスタートさせ、日々の学習に熱心に取り組んでいます。5月8日には、電気工学科の新入生歓迎会(和魂会)が開催され、新入生の自己紹介のほか、2～5年生のクラス紹介がありました。コロナ禍の影響で、久しぶりの学科のイベントとなりましたが、みんな楽しく過ごしていました。3年生は、5月18日に機械工業見本市(MEX金沢2023)を見学しました。企業の「ものづくり」に触れるとともに、地元の企業を知る良い機会となりました。5年生は、5月29日に実施された卒業研究の中間発表会で、各自の研究内容や研究計画について紹介しました。

●進路状況

今年度の5年生は41名で、就職希望者が24名、進学希望者が17名となっています。

就職については、電気業界だけでなく、機械、建設、化学、食品、医療、ソフトウェア系など、様々な分野から求人をいただいています。求人数は昨年度より増えており、電気系技術者への期待が、ますます高まっています。就職活動の時期が早くなる傾向にありますので、夏季学外実習や就職セミナーなどを利用し、早くから自分の将来について考えるよう心がけましょう。

進学については、多くの学生が推薦制度を利用しての編入学を希望していますが、今年度は、学力受験に挑戦する学生が増えています。全員が希望した大学に進学できることを願っています。進学希望者のうち、4名が本校専攻科の推薦入試に合格しています。

新入生歓迎会「和魂会」→

電子情報工学科

学科主任　長岡 健一

今年度電子情報工学科主任を務めさせていただきます長岡です。よろしくお願いいたします。さて、4月5日の入学式で、43名の新1年生とモンゴルからの3年次編入学生1名を迎え今年度も電子情報工学科が明るくスタートしました。コロナ禍による制限もようやく緩和され、4月14日、15日には、1年生の合宿研修が、羽咋市の国立能登青少年交流の家で4年ぶりに実施されました。私も途中参加させていただきましたが、野外活動や学科別ミーティングなどでは、キラキラした新入生の皆さんの活発な様子が印象的でした。また、5月26日には、3、4年生が第38回いしかわ情報システムフェア（e-messe金沢2023）を見学しました。県内のIT企業が多数出展しており、メタバース、IoT、AIなどの最新技術に触れ、知的好奇心がより一層刺激されたようです。

さらに本学科では学生の資格取得を推奨しています。ディジタル技術検定試験では、昨年度受験した多くの学生が合格し、電子情報工学科が優秀な成績を収めた団体として文部科学大臣賞を受賞しました。社会のDX化やSDGsの達成のため、今後も益々、新しい技術に挑戦し続けるエンジニアが求められています。学生の皆さんが将来、創造力豊かな技術者として社会で活躍することを支援するため、電子情報工学科のスタッフ一同全力で取り組んで参ります。

●進路状況

今年度の電子情報工学科5年生は41名です。20名が就職希望、21名が進学希望です。就職希望先としては、システム開発関係に加え、自動車や製造業など多岐にわたっています。本年も様々な業界から電子情報工学科学生への求人案内が届いています。現時点で進学希望の学生の内、5名が本校専攻科の電子機械工学専攻に推薦合格しています。

↑学科別ミーティング
e-messe 金沢 2023→

環境都市工学科

学科主任　津田 誠

今年度の環境都市工学科は、42名（男子19名、女子23名）の新入生と、3年生にマレーシアからの留学生1名を迎えました。新一年生の高専生活が無事スタートしたことをうれしく思います。在校生、教職員一同、心より歓迎します。高専での生活が充実し、立派な技術者として社会に巣立ちできるよう、全力でサポートしたいと思います。さっそく、環境都市工学基礎の授業では、UAV（ドローン）の体験をしました。ドローンは、測量・調査などへの応用が進められていますが、授業ではDX技術などの様々な最先端技術も取り入れていきます。また、当初建設された箇所から移設され、リサイクルされている橋梁の見学や石川県庁への訪問も予定しております。

●進路状況

今年度の5年生は、42名（男子22名、女子20名）で、進学希望15名、就職希望27名（民間22名、公務員5名）です。進学では、6名が専攻科への推薦による選考に合格し、9名が大学編入試験に臨みます。就職活動では、合同説明会のweb開催などの影響もあり企業選択に苦労する様子もありましたが、3月上旬にはほぼ全員が活動を開始しました。選考手法も対面式に戻りつつある中で、就職活動は順調に進み、5月末には、9割以上が希望の企業から内定を獲得することができました。公務員志望の5名は、国家公務員や各自治体の採用試験に臨みます。

ドローン体験

建築学科

学科主任　村田 一也

建築学科は今年度42名の新入生を迎えました。学科学生は留学生2名を含む208名になります。

建築学科では、これまでも状況に鑑みながら、学外講師による講評会や現場見学などを続けてきました。新年度を迎え各種活動も多彩になっています。設備機器の見学として石川県立音楽堂、設計課題に係る津幡町庁舎と住吉公園温水プールの見学、現場見学として金沢市民サッカー場建設工事、鉄骨制作工場の見学等、実践に即した教育活動を実施し、体験的なキャリア教育の一環としています。

●進路状況

昨年度卒業生の進路は、就職が23名、進学が13名となり、進学者のうち3名が本校専攻科に在籍しています。本年度は、留学生1名を含む43名のうち25名が就職を、18名が進学を希望しています。

同学会（学科新入生歓迎会）集合写真

●学生の活躍

今春卒業の学生による卒業設計作品から2作品を選出しJIA卒業設計コンクールに出展していました。5月21日に行われた北陸地区予選で内1作品が最優秀賞となり全国大会への参加を決めています。

昨年度、「全国高専デザコン」では、4、5年生が研究室グループとして空間デザイン部門で最優秀賞と優秀賞を、福井高専学生と協同し創造デザイン部門で審査員特別賞を受賞しています。「木の文化都市・金沢ミライまちづくり」学生提案事業では優秀賞をダブル受賞し、「北陸の家づくり設計コンペ」では2作品が優秀賞を、1作品が佳作を受賞しています。さらに、この設計コンペでは、学科卒業生も特別賞と優秀賞を受賞しています。また、3年生が、高校生の「建築甲子園」で準優勝を、石川県デザイン展で銅賞と奨励賞を受賞しました。

本科学生主体による同学会（新入生歓迎会）が、久しぶりに全学年を集めて開催され、専攻科生主導でのボーリング大会も終えました。

専攻科

専攻科長　山田 悟

本年度は、電子機械工学専攻21名、環境建設工学専攻9名の新入学生を迎え、専攻科在籍者数57名となりました。今年度の入学生から、本科のカリキュラムが変更されたことに合わせて、受講する専攻科のカリキュラムも新しくなりました。新しい専攻科カリキュラムは、各専門学科で学んだことをもとに、それを深化し、さらに幅広い分野で活躍できるような人材が育成できるよう構成されています。さらには、持続可能な開発のための地球規模の諸問題の解決に向けて、細分化した学問領域ごとに取り組むのではなく、自然科学と人文・社会科学の多様な学問分野の知を統合して取り組むための相乗的な科学スキルを育成するため、本校の他専攻や他大学などの単位を認定する枠組みとして「サステナビリティサイエンス」を新設しました。また、これまでのカリキュラムから1ヶ月間短縮されましたが、約2ヶ月に及ぶ企業での長期インターンシップも継続実施されます。本年度入学した学生は、最初は本科と専攻科との違いに戸惑うこともあるかと思いますが、幅広い分野に触れながら、自分の進むべき道を選択して行って欲しいと思っています。

●進路状況

昨年度の専攻科卒業生の進路は、進学が5名、就職が24名でした。就職した学生のうち長期インターンシップ先への就職が、8名となっています。長期インターンシップで、企業とのマッチングを確認できることがこの結果につながっているのだろうと推測しています。

これまで、専攻科から大学院への進学率は全国の専攻科に比較して低い傾向にあります。実は、専攻科から他大学への大学院への進学は、本科から他大学へ編入学するよりも開かれていることについて知っておいてください。専攻科卒業以降も学ぶ道は、数多く存在します。就職・進学どちらを選択するにせよ、本科で学んだことをもとに更に飛躍してくれることを願っています。

学生相談室だより

学校はみなさんを応援する場所です。工学の勉強がしたい、ロボコンに出たい、紀友祭が楽しそう、就職率100%、いろいろな理由で石川高専を選んだみなさんの夢が叶うように、石川高専で働く教職員全員が、みなさんを応援しています。みなさんが、ここで勉強したいと選んだ学校だけれど、時には勉強しろとか、課題を出せとか、レポートがまだだとか、遅刻するな、ちゃんとしろと先生達がうるさく言うこともあると思います。きびしいなあ、イヤだなあと思うかもしれないけれど、それはみなさんに立派な社会人になって欲しいという先生達の応援なのです。

でも人には、もうこれ以上頑張れない、という時もあります。そして「頑張らないことを応援する場所」も学校にはあります。十代は、勉強や課外活動、友人関係、恋愛、家族、進路の問題など、変化や戸惑いが多い年代です。学生相談室は、つらい、疲れた、泣きたい、逃げたい気持ちになったとき、こころを落ち着けたり、できごとを整理したり、またみなさんが頑張る元気を回復する場所です。「話をしてみようかな」と思ったら、各学科の相談室員の先生や保健室を訪ねてみてください。先生や看護師さんが話を聞いたり、学外のカウンセラーの先生の窓口になったりしてくれます。

●令和5年度 相談室スタッフ

・学生相談室長：佐々木 香織（一般教育科）

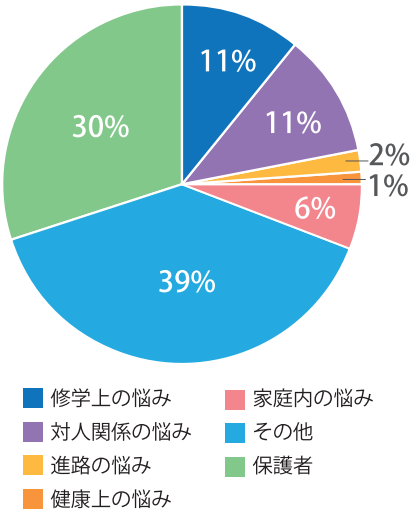
・学生相談室員：吉江 佑介（一般教育科）　寺本 裕志（機械工学科）
矢吹 明紀（電気工学科）　川除 佳和（電子情報工学科）
寺山 一輝（環境都市工学科）　豊島 祐樹（建築学科）

・外部カウンセラー：西村 優紀美　足立 由美　髙村 梓　中山 進　深江 有理佳
喜多 大輔

・保健室：堀井 佳美　酒井 美有紀　・スクールソーシャルワーカー：梅原 智恵子　山本 悠

●令和4年度 相談内訳

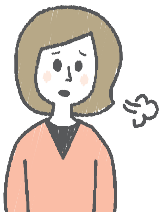
年度によりバラツキもありますが、
参考にしてください。



●カウンセラー来校日　月曜・水曜・金曜日

［時 間］14：00～17：00

※相談がある人は保健室まで連絡してください。
保護者の方も利用できます。



【石川高専相談室の連絡先（保健室）】

TEL：076-288-8037　E-mail：hoken@ishikawa-nct.ac.jp

※相談内容は厳守されます。

KOSEN こころとからだの学外相談室

電話相談　予約不要

●利用時間：毎日15:00～24:00
●匿名での相談が可能です。

些細な悩み事でもお気軽にお電話ください。
専門スタッフが対応いたします。

※電話相談は何度かけても無料です。
※専門の医療機関の紹介も可能です。
※海外からはご利用いただけません。

オンラインカウンセリング　事前予約制

●相談時間：１回／50分（年間５回まで無料）
●予約方法：下記電話番号、またはQRコードから

※カウンセリングは、Teams、Zoom等のビデオ通話機能を利用しますので、自宅などでゆっくりお話ができます。
※海外からの相談も可能です。予約は専用フォームのみご利用いただけます。

フリーコール **0800-000-2228**　通話無料フリーコール
スマートフォン・携帯電話でもご利用可能です。

●利用可能期間／2023年4月1日～2025年3月31日　●利用時間：毎日15:00～24:00

・学生ご本人と保護者・兄弟姉妹の方々および教職員とそのご家族がこのサービスを利用できます。
※相談内容や氏名等の個人情報は個人情報保護法の法令に定めのある場合を除き、第三者（学校含む）に提供いたしません。

令和四年度 卒業証書・修了証書授与式

令和5年3月17日（金）、津幡町文化会館シグナスにおいて、卒業証書・修了証書授与式を挙行しました。
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため時間を短縮して行い、
本科卒業生195名と専攻科修了生28名は希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。

告辞

日一日と温かくなり春めいている津幡で本日、第54回卒業証書授与式並びに第22回修了証書授与式が無事挙行される運びとなりました。

195人の本科卒業生、28人の専攻科修了生のみなさん、おめでとう。

次のステップへ歩みだそうとする皆さんを、ご家族・関係者及び在校生とともに見送ることができることは、私たち石川工業高等専門学校に関わる全ての者にとって、大きな喜びであります。

そして、卒業生・修了生を長年にわたり励まし支えてこられたご家族・関係者の皆様には、心からお喜び申し上げるとともに、深く感謝いたします。

本日の卒業生の中には、マレーシアからの留学生アリフさん、モンゴルからの留学生トラガさん、ハトナさんがおられます。故郷を離れ、異なる文化、慣れない言語や気候など様々な困難のなかでも勉学に励まれ所定の課程を修めたことに、心からの賛辞を送ります。

中学校卒業後、同級生に先立ち高等教育機関である本校に入学した何年も前の自身の姿、思いを覚えているでしょうか。実践的創造的な技術者となるための高度かつ専門的な学問、今ならその意味するところを理解し説明もできるでしょうが、当時の皆さんには期待半分、不安半分であったことと思います。あるいは、寮に入り家族ではない他人との初めての共同生活に、自由を感じつつ緊張もしていたことでしょう。そういった様々な思いとともに、皆さんの石川高専時代は始まったことと思います。

今日の日はどのように感じていますか。高度な知識を吸収するだけでなく様々な実験・実習・実技でその知識を実践し、あるいは，同世代とは言い難い幅広い年齢層の者とともに活動した5年間、7年間は、まだ実感していないかもしれませんが、高専でなければ経験できなかった貴重な糧となっているはずです。

入学当時そしてこの石川高専時代を振り返れば、それぞれの経験と成長に自信と誇りをもって、この春からの新たな第一歩を歩み出せるはずです。

しかし、皆さんの人生としてはこれからが本番であり、これからは一人の大人として社会の責任を負って生きることとなります。そしてその社会は、今まさに目まぐるしく変化し、複雑で険しいものとなっています。

情報化・グローバル化は全体的にはますます進展していくはずです。

例えば、Sosciety5.0とかＤＸつまりデジタルトランスフォーメーションという言葉、皆さんが入学した頃にはまだまだ普及していなかったはずですが、今日では、社会が存立する基盤ともいうべきものになりつつあります。むしろ皆さんは、この基盤の上に更なる次を生み出していくことが期待されるはずです。

一方、グローバル化については，ロシアのウクライナ侵攻、資源・エネルギー・食料の確保競争などにより、その実態は既に極めて複雑なものとなっています。場面や要素ごとに見ればむしろ逆行するように見える事象が多々発生しているようにも感じます。

製造業の国内回帰が顕著になっていますが、そのために必要なはずの資源、そしてなにより人口はそう容易く増加するわけもなく、では代替策はどうするかとなれば、世界中の公知の知識・技術を学び、先ほどのＤＸなども駆使して、新たな知識・技術を創造していくしかないのです。

皆さんが生きる時代は、誰も知らない変化が絶え間なく続く、皆さん自身で切り開いていくしかない時代です。しかし全ての世代がそれぞれに直面し、対応してきたことであり、皆さんにも当然、できるはずです。

もう一つ、皆さんの学生生活の大きな足かせとなったコロナ禍は、ようやく対策・制限の軽減の時を迎えますが、人々の感情や行動などに果たしてどのように影響したのか、これからどのように変化していくのか、これもまたわからないことです。

しかし社会は人と人との触れ合いで成り立つものであり、したがって社会に貢献する技術とは、人の思いを大切にしてこれと調和するものであるはずです。一個の技術者としてまた社会人として、忘れないでください。

本校は今年で創立58年。本科卒業生は皆さんの代で9000人を超えます。先輩方は国内外の様々な分野で活躍し、社会を担っており、それがまた皆さんに対する社会の期待に繋がっています。皆さんも、先輩方に続いてください。また、皆さんが人として自立していく成長の時を、同じ場で過ごし学びあった同士として、末永く付き合い、助け、刺激しあって、これからも進んでいってほしいと思います。

卒業生・修了生の皆さんは、それぞれの思いを胸に、今、石川高専から新たな社会へ歩みを進めます。これまで以上に、様々なことに悩み、翻弄されることも多くなるでしょうが、皆さんの中に未来を切り開く力は培われています。自信と誇りをもって、これからも一歩一歩思うように歩んでいかれることを祈念して、お祝いの言葉とします。

令和５年3月17日　石川工業高等専門学校長
嶋倉　剛

Massages
from 卒業生・修了生

卒業生・修了生が学校生活を振り返っての思い出や頑張ったことなど、後輩たちへのメッセージを綴ってくれました。

高専での5年間

機械工学科　櫻井 遼

石川高専に入学してからあっという間に5年が経ち卒業の年を迎えることができました。長いようで短かった5年間でした。何も分からずどきどきしていた1年生の頃が今ではすごく懐かしいです。学年が上がるに連れて、先輩として後輩を引っ張っていく立場になっていきました。石川高専に入学して5年間を通して、勉強面であったり、生活面であったり、たくさんのことを学ぶことができました。機械工学に関する専門知識や、社会人としての基礎力、世の中に出ていくために大切な知識や技術を身につけることができたと思います。

石川高専での生活の中で僕が1番やってよかったなと思ったことは、紀友祭実行委員会の課長をしたことです。紀友祭は、実行委員会の仲間の力であったり、地元の企業であったり、地域の人たちの協力を得たりして作り上げることのできる大きなイベントです。紀友祭を通して、仲間の大切さや、みんなをまとめるための力、地元の企業や地域の人たちに対する感謝の気持ちを持つことが必要ということを学んだり、身につけたりすることができました。紀友祭実行委員会に入ったことによって自分を大きく成長させることができたと思っています。

最後になりますが、僕が石川高専に入学してから、自分の進路や勉強面、生活面について、クラスの仲間であったり、機械工学科の先生であったり、たくさんの人に助けられてきました。この場を借りて感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

感謝の５年間

電気工学科　吉田 利紅

5年間の高専生活を振り返ると、たくさんのことを学んだ時間だったと思います。何もわからずに入学を迎え、1年生の時は勉強面や部活面でついていくことに必死だったような気がします。日々の授業や学校生活を大切にし、初めは何もわからなかった電気工学のことに興味を持ちテスト勉強を友達と頑張ったことを懐かしく思います。コロナ禍に入り学校にいけない日々が続き寂しい日々が続きましたが、オンラインで会議を開き、たまに顔を見せ合ったりと、できることを最大に楽しんでいたように思えます。学校が再開してから行事への協力や参加人数が驚くほどに多くなりました。そこで月日が経つにつれ段々とお互いを理解し、支えあえるようになったことを感じました。段々と学校生活にも慣れ、たくさんの思い出ができてきたのに、もう5年がたち卒業を迎えることをとても寂しく思います。僕たちのクラスは1人1人がとても個性的で、ぶつかりあうこともありました。その分みんなでたくさんのことを乗り越えることができ、今ではかけがえのない友達になれたと思います。これからはお互いに別々の進路に進み、大変なことや落ち込むこともたくさんあると思うけどいつもみたいに笑い話にできるようにお互いを支えあっていきましょう！

最後に在校生の皆さんへ。1日1日の学校生活や行事を大切にして、周りの人と協力し、楽しんでいろんなことに取り組んでください。石川高専で学んだことや思い出は最高の宝物になると思います。

高専生活を振り返って

電子情報工学科　佐々木 悠乃

いざ卒業を迎えると当たり前だった高専生活が惜しく感じられます。友達と過ごした5年間は私にとってとても大切な時間だったのだと気付かされました。たくさんの思い出がありますが、コロナによって今までできていたことが制限され、とても困惑した記憶もあります。思い通りに開催できなかった紀友祭や行くことが出来なかった研修旅行など、入学当初は当たり前だと思っていた事ができず、とても悔しい気持ちにもなりました。そんな中でもやっぱり高専生活を振り返ると楽しかったなと思えるのは、友達の存在がとても大きかったと思います。学校に行けば友達に会え、たわいもない会話をし、また明日になれば当たり前に会える、そんな日常が今では何よりも大切な思い出です。また、部活動や紀友祭実行委員などを通して色々な学年や学科の人と関わり、みんなで1つの目標を達成するために頑張る大変さや成功した時の感動を何度も体験しました。この経験は、私にとって貴重なもので、社会人として新たな1歩を踏み出すときに自信と勇気をくれました。色々な人と出会い、たくさんの経験をすることができ、私の高専生活はとても充実したものだったと思えます。みんなに出会えて良かったです。本当にありがとう。

今後卒業を迎える後輩たちにも、充実していたなと思えるような高専生活を送って欲しいと思います。高専生活を振り返ると短く感じられ、友達との別れを惜しむほど皆さんの高専生活を充実させてください。

5年間の高専生活を終えて

環境都市工学科　石村 颯太

これまでの5年間を振り返ってみると、たくさんの経験をして多くの思い出に残るものがありました。

しかしながら、私が3年生になった頃には新型コロナウイルスの影響で様々なことが規制され、3年生での国内研修や4年生での海外研修が中止になり、紀友祭の規模が大幅に縮小されるなど過去に比べると学生が楽しみにしているイベントが思うように楽しめない状況でした。

そんな中でも私はたくさんの楽しみを感じ、思い出を作ることができました。そのひとつとして球技大会がありました。球技大会も感染症対策で様々な規制がされ、過去のものに比べると少し物足りないものではありました。学校では思うように練習することができず、外部の体育館を借りて練習をするなど、規制があった代わりに別の楽しみを得ることもありました。そんな状況下でクラスの仲間と掴み取ったベストクラスは本当に嬉しいもので、特に印象に残った出来事でした。高専の特徴である、5年間同じクラスというものが無かったらこんな経験はなかったと思います。

この学校では、日々の学校生活はもちろんのこと、自身の学生時代を充実させられる行事が多くあります。昨今の状況では新型コロナウイルスによる規制が徐々に緩和されつつあり、自由な学校生活が戻る日は近いのではないでしょうか。

後輩の皆さん、高専でしか味わえない日々や行事を精一杯楽しんでください。勉強はもちろん大切ですが、遊ぶのも同じくらい大切です。

振り返って今思うこと

建築学科　吉澤 実紗

卒業を目前にした今、5年間という時間は、あっという間に過ぎたように感じます。

高専は自由で、好きな事に力を尽くせる一方、結果に責任が伴い自律と自立が求められるので、一変した環境に入学当初は戸惑いと不安を感じたことが多々ありました。けれども今、晴れやかな気持ちで卒業を迎えられるのは、活気に満ちたクラスや、先生方の温かい支援があったからこそだと思っています。

5Aはメリハリのあるクラスで、行事には特に熱く、球技大会や紀友祭のクラス対抗の思い出は、今も脳裏に焼き付いています。いつも明るいクラスは心の支えになり、私にとって居心地の良い場所でした。

そして先生方は、進路決定や研究をはじめとして、些細な相談事にも真摯に応じてくださり、その寛大さにいつも救われました。とても感謝しています。

また、建築研究部でコロナ禍前に研修旅行として多くの建築を見て回ったこと、研究室や部活動で様々なコンペに挑戦できたことなど、多くの経験と学びの機会を得ました。大切な宝として、今後に活かしていきたいと思います。

最後に、後輩の皆さんへ。個人研究や進路決めなど、これから決断の時が待っています。不安になることがあるかもしれませんが、1人で抱え込まず、周りには沢山の味方がいることを忘れないで下さい。最初から無理だと諦めずに、時には思い切って挑戦してみることも大事だと思います。

改めて今、私自身も、目標に向かって真っ直ぐに突き進みたいと思います。

修了を迎えて

電子機械工学専攻　水上 多希人

専攻科で過ごした2年間はあっという間に過ぎ、まもなく修了を迎えます。専攻科での2年間を通して、本科5年間だけでは学ぶことができなかったことを多く学ぶことができたと実感しています。

インターンシップでは、3ヶ月の間企業にお世話になり、実際の業務に携わるという通常の学生生活では得られない貴重な経験とスキルを得ることができました。また、社員の方にお話しを聞くことで働くことのやりがいや社会人に必要な能力を学ぶことができ、その後の就職活動においても貴重な財産となりました。

特別研究では、学会発表や学位授与の為に論文執筆に勤しみました。次々と浮上する問題を、修得した技術に関する知識やスキルによって解析し、解決することで論理的思考力を育むことができました。また、研究発表を通して論理的な記述や表現力といった今後社会人として必要となる基礎的な力を身につけることができたと実感しています。

これから社会にでることでたくさんの壁にぶつかるかと思いますが、専攻科で培ったスキルや問題解決のためのノウハウを活用し、様々な問題を解決していきたいと思います。

後輩の皆さんには、積極的に学ぶことを忘れないでほしいと思っています。ぜひ、たくさんのことを学び、自分自身を成長させていくことで、限りある学生生活の一日一日を大切にしていって欲しいです。

修了を迎えて

環境建設工学専攻　亀田 萌理

7年間の高専生活を終えて、まもなく修了を迎えます。寮生だった私は、誰かの部屋に集まって夜まで喋ったり、当直の先生のところに遊びに行くのが楽しみでした。テスト勉強や設計課題に追われてみんなで徹夜していた日々も、振り返るといい思い出です。部活や学校行事では、人に恵まれ、ユーモアたっぷりの楽しい時間を過ごすことができました。5年制で人数の少ない高専だからこそ生まれる一体感、先輩後輩の仲の良さがあると思います。専攻科では、長期インターンシップがあり、働くことの意味、地域における会社の意味を知りました。

在学中に何度も休学を考えた私ですが、後悔なくここまで続けてこられたのは、悩んでいるときに親身になって相談に乗ってくださり、背中を押してくださった村田先生のおかげです。留学、金澤町家の活用、地元での研究活動など、様々な経験をする中で多くの人と出会い、ライフワークとなるようなことも見つけることができました。目の前のことで精一杯になり、周りに迷惑をかけ大反省したこともありました。そばで支えてくださった先生や友人、家族、関係者のみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

最後に在校生の皆さん。いろいろな価値観の人と出会ってほしいです。そして、挑戦してみてください。その経験は自分の糧になっていくと思います。

令和4年度進路状況

●就職・進学状況

区分＼学科等	機械工学科	電気工学科	電子情報工学科	環境都市工学科	建築学科	専攻科	計
卒業・修了者数	42	39	39	37	38	28	223
就職者数	23	25	16	26	23	23	136
進学者数	17	13	22	11	12	5	80
その他	2	1	1		3		7
求人企業数	803	825	742	597	583	1338	4888
求人倍率	34.9	33.0	46.4	23.0	25.3	58.2	35.9

●地域別就職状況

区分＼学科等	機械工学科	電気工学科	電子情報工学科	環境都市工学科	建築学科	専攻科	計
石川	5	3	5	7	7	12	39
富山	3	2	2				7
新潟						1	1
長野					1		1
関東	8	13	8	14	12	8	63
山梨	1						1
東海	4	3	1	1	1		10
近畿	2	4		4	1	2	13
広島					1		1
計	23	25	16	26	23	23	136

●産業別就職状況

区分＼学科等		機械工学科	電気工学科	電子情報工学科	環境都市工学科	建築学科	専攻科	計
建設					17	19	10	46
製造業	食品・たばこ							0
	金属製品・鉄鋼・非鉄					1		1
	印刷等							0
	一般機械	8	7	3			5	23
	電気機器	3	6	2			4	15
	電子機器	3	3	6			1	13
	輸送用機器	1						1
	精密機器							0
	その他製造	3	3		1		2	9
運輸・通信・情報		3	2	1	3	1		10
電気・ガス・水道		2	3		3	1		9
サービス業・メンテナンス			1	4		1	1	7
公務員・教育学習支援					2			2
計		23	25	16	26	23	23	136

退職に寄せて

愛すべき学生さんとの夢のような10年間でした　福留 和人

10年前、建設会社での実務30数年後の無謀な転身により、石川高専に着任いたしました。もとより能力、教員経験はなく、校務・学科運営などで十分な貢献ができておりませんが、教職員の方々、愛すべき学生さんに支えていただきながら、10年間の職務を何とか遂行することができました。深く感謝申し上げます。

元来おりこうではなかったため、教員という存在そのものが苦手で、大学進学、就職の際にも教員になるという選択肢は全くなく、逆に、教員には向いていないと思い込んでいました。ただ、両親、祖父、親戚の多くが教員の中で育ち、技術者人生の後半を迎えてようやく教員のDNAが騒ぎ出したのではないかと推測しています。10年間を振返っても教員に向いていたのか結論は出ませんが、愛すべき学生さんと過ごす時間は楽しく、夢のような時間であったことは確かで、教員になって本当に良かったと思っています。

振り返りますと、着任した10年前が遠い過去にも、ついこの間にも感じる不思議な感覚です。着任早々1年生の授業を担当しましたが、何事にも真面目に取組む学生さんだなという印象でした。また、5年生と専攻科の授業では、4、5年で立派に成長し、既に大人の雰囲気の学生さんに感心しました。下手な授業にも拘らず、協力的な学生さんに助けられながら、何とか教員生活をスタートできました。球技大会、紀友祭、研修旅行など楽しい思い出ばかりです。着任早々の球技大会では5Cチームに選手として出場し、ルールに教員出場禁止が明記される原因となりました。研修旅行は5回(海外が3回)引率し、楽しく旅行させていただきました。紀友祭も毎年楽しんでおり、最終年度には企画にも参加しました。その他、運動部やダンス同好会の顧問なども楽しい思い出です。最後の3年間、コロナ禍での学校行事の制約が残念でしたが、学生さんたちとはマスク着用以外、コロナ禍前と変わらない接し方をしていました。そのため、複数回自宅待機となり、関係各位には多大なご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。

愛すべき学生さんたちとの夢の時間が終わろうとしている今、何とも言えない寂しさにさいなまれていますが、常に彼らの活躍、幸せを心より願いながら次のステップを進んでいこうと思います。最後になりましたが、本校の益々の発展と皆様のご健勝を祈念申し上げます。10年間、ありがとうございました。

転任

もっと楽しい高専生活を送るために　金寺 登

45年前、私も石川高専に入学し５年間勉強しました。その後、大学、大学院と進みましたが、高専の勉強が一番役に立つと感じました。そこで、高専の教員になりました。おそらく皆さんが考えている以上に高専の教育環境は充実していると思います。是非、最大限活用してください。

全校集会などで、何度も申し上げたことですが、楽しい高専生活を送るために、２つのことを実行するとよいと思います。一つは「相手(あいて)の立場になって考えてから話すなどの行動をすること」です。会話やSNSなどで、一呼吸おいて相手の立場を考えてから発言するとよりよい人間関係が構築でき楽しい高専生活につながります。２つ目は、「宿題(しゅくだい)はその日のうちに」です。高専はしっかり日々の課題(宿題)を理解して実施すれば留年の心配なく楽しい高専生活を送れます。その日のうちにできないときは、必ず計画を立ててください。課題や試験の実施計画を立てて実施する訓練をしておくと将来のチームプロジェクトでも大いに役立ちます。忙しい時ほど、追い詰められているときほど、計画をたてましょう。高専での楽しいあしたを過ごすために、「相手(あいて)の立場になって考えてから話すこと」「宿題(しゅくだい)はその日のうちに」を忘れないでください。

高専では、早い時期から一般科目とともに専門科目を学び、実験や実習を重視することにより、専門的な理論と技術の基礎を身に付けることができます。そして、高専は、皆さんが将来、社会システムの問題点を技術で解決できるソーシャルドクター、さらには新しい価値を創造することができるソーシャルクリエーターとなることを目指しています。皆さんの身の回りや通学時などで、こうすればもっと便利になるんじゃないかという気づきを大切にしてください。そして気づいたことを記録しておいてください。いますぐは難しくても、本校での経験を通じて、よりよい社会の実現につながるシステム構築を将来の自分が仲間と実現することを想像してみてください。石川高専にはそのために必要な十分な設備とスタッフ、そして応援してくださる地域の方々が揃っています。石川高専学生の皆さんが今後益々ご活躍されることを期待し楽しみにしています。

最後に石川高専の皆様にはこれまで大変お世話になりありがとうございました。

新任教員紹介

私の30年の旅

MOANANU Charlton Bill（モアナヌ チャールトン ビル）

アメリカのハワイ州出身です。ALT（外国語青年招致事業の外国語指導助手）として高校で英語を教えながら、当初は3年間日本に住む予定でしたが、今年で30年目になります。今でも、日本の文化や伝統、言葉に魅了され続けています。今は、近いうちに、日本語能力試験1級に合格することが目標です。

高校時代はアメリカンフットボールとレスリングをしていました。スポーツを通じて、逆境や困難を「個人」で乗り越えるだけでなく、「チーム」で取り組むことの大切さを学びました。スポーツによって心身ともに成長することができ、今の自分があるのだと実感しています。

外国語を学ぶ面白さは、新たな価値観を知ることだと思います。例えば、同じ絵をみていても言語や文化的背景によって二人の解釈が異なることがあります。英語がグローバルな言語となった今、言語の機能だけでなく、その背景にある文化的価値も理解することが重要です。

私が担当している授業では、オンライン教育用ウェブツールや人工知能（AI）を活用して、学生の英語教育目標の達成をサポートし、手助けするオンラインウェブツールを取り入れるようにしています。

学生の皆さんへ “Let's enjoy English together”

Profile

所属：一般教育科
職名：准教授
専門分野：TESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages)
学位：修士（英語教授法）
趣味：アメリカンフットボール、レスリング、スノーボード、調理・食べること、海外旅行、新しい文化・伝統・言語を学ぶこと

先ず「健康」より始めよ

和久井 健吾（わくい けんご）

今年度4月に体育の教員として着任しました。昨年度までは新潟大学大学院で学生をしていました。まだまだ若いつもりではいるので、学生の皆さんに負けないくらいエネルギッシュに頑張りたいと思います。石川には来たばかりなので、おすすめの場所（特にラーメン屋）を教えてもらえると嬉しいです。

専門分野はスポーツバイオメカニクスです。スポーツ動作時の筋活動や関節の運動を分析し、運動構造の解明や、より巧みな動作の実施・習得に向けた知見を得るための研究をしています。

優秀な技術者になるためには、専門分野の勉強も大切ですが、心身の健康を良い状態に保つことも同じくらい大切だと思っています。ゲームやスマホにかまけて睡眠不足になってはいませんか？好き嫌いをして栄養が偏ってはいませんか？私もラーメンは週に1回までに我慢するよう努めています。どんなに優れた人材も健康を損ねていると本領を発揮できません。石川高専の学生の皆さんが一生懸命身につけた高度な知識と技能を社会で存分に発揮するために、今のうちから生活習慣を整え、丈夫な心と体を手に入れてください。

Profile

所属：一般教育科
職名：講師
専門分野：スポーツバイオメカニクス
学位：博士（工学）
趣味：サッカー、サイクリング、ゴルフ、スキー、コーヒー、おいしいラーメン屋さがし

●人事異動

■令和5年3月31日付け

定年退職　福留　和人　環境都市工学科教授

■令和5年4月1日付け

採　用　和久井健吾　一般教育科講師
　　三吉　建尊　電子情報工学科助教

昇　任　佐々木香織　一般教育科教授
　　吉本　弥生　一般教育科准教授
　　鬼頭　美帆　一般教育科准教授
　　山﨑　梓　一般教育科准教授
　　西村　知修　一般教育科准教授
　　小林　竜馬　一般教育科准教授

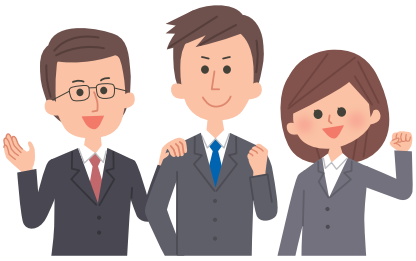
昇　任　東　亮一　電気工学科教授
　　河合　康典　電気工学科教授
　　矢吹　明紀　電気工学科講師
　　越野　亮　電子情報工学科教授
　　嶋田　直樹　電子情報工学科准教授
　　寺山　一輝　環境都市工学科准教授
　　小杉　優佳　環境都市工学科講師
　　豊島　祐樹　建築学科准教授
　　小川　福嗣　建築学科講師

配置換（転出）　西山　勝彦　電気工学科准教授

配置換（昇任・転出）　金寺　登　電子情報工学科教授

■令和5年5月1日

採　用
MOANANU Charlton Bill
一般教育科准教授



国際交流だより

副校長（地域・国際連携担当）道地　慶子　寮務主事 岩竹　淳

本科4年全5学科で海外研修旅行を実施し海外協定校と交流プログラム等を行っていましたが、2020年度以降新型コロナウイルスの影響により海外研修旅行を中止としていました。しかし、今年度は「令和5年度高専生の海外活動支援事業」の採択と5月には感染症法上の分類が5類に引き下げられたことにより、建築学科4年生と5年生の希望者が海外研修旅行の実施を再開することになり、第１回海外研修旅行オリエンテーションを4月28日に視聴覚教室で行いました。また、トビタテ！留学JAPANの募集が再開され、3年建築学科の学生が合格し短期留学を実施する予定です。加えて、公益社団法人日本国際生活体験協会のEIL高校生交換留学プログラムで3年電子情報工学科の学生1名が１年間の長期留学を行う予定と海外へ向けての活動が徐々に活発化しています。

今回は継続的に支援活動を行っている「タイテクニカルカレッジプレミアムコース」について、実際に現地で活動をされている国際交流委員電気工学科 田中先生に報告をお願いいたしました。

第1回 海外研修旅行オリエンテーション

旅行業者による説明

視聴覚教室の学生の様子

タイプレミアムコース支援状況報告

電気工学科　田中 文章

本校では、コロナ禍前の2019年からタイ テクニカルカレッジ プレミアムコースの支援事業を主幹校である長野高専と協力する形で実施してきました。本年度は本コースから初めての卒業生が生まれる年であり、本支援事業も一定の区切りを迎えつつある状況です。

初年度には訪問して、試験業務のサポートや試験結果のフォローアップなどを実施していましたが、その直後に、新型コロナが発生・流行が始まったため、以降はteamsなどを用いた遠隔的な支援が主体となりました。

タイへの渡航も出来ず、遠隔での支援であることに加え、タイでも新型コロナは猛威を振るっており、タイの授業自体も遠隔とならざるを得ないなど、支援も非常に難しい状況が続いていました。しかし、2022年度も後半になると、海外渡航の制限も緩和され、タイへの渡航も現実的なスケジュールが組めるようになりました。

そのため、昨年度は2022年12月18日～12月25日の日程でタイ テクニカルカレッジ Chonburi校の試験業務のサポートとそのフォローアップ、翌2023年3月8日～3月13日の日程でタイプレミアムコースの教員研修を実施しました。

試験業務のサポートとフォローアップでは、試験問題の作成やタイ側で作成した試験問題について各問題の難易度などを指摘し、さらに試験実施後は試験問題の解答作業や各問題の正答率を分析した結果をタイ側にフィードバックしました。

3月の教員研修支援では電気工学科の瀬戸先生、上町先生、田中が、バンコクのタイ教育省職業教育委員会（OVEC）を訪問し、Suranaree校やChonburi校の専門分野を教える先生や英語の先生などが集まる中、瀬戸先生が演題に立ち、講演を行いました。

講演内容は、本校の教育方法、シラバスの作成、試験問題の作成方法の紹介、さらに現地の試験と本校の問題を比較して、試験問題の難易度を確認する内容でした。また教科書については、学生の年齢に合わせた難易度の教科書が必要であること、大学のような教科書ではなく、学生の理解度に寄り添った教科書をできれば現地の母国語で作成する重要性が大きな話題となりました。その後、専門基礎科目の例として電気回路の試験問題で出された内容の解説や前回までの試験結果を基に、学生の正答率の低い試験問題をタイ側教員に解き直していただく実習を行いました。

2023年度は、4名（男子2名・女子2名）の留学生が入学しました。有朋寮で生活している彼らにアンケートの回答をお願いしました。将来、留学を考えている学生の皆さんにも役立つコメントもありますので、是非参考にして下さい。

【アンケート内容】
①出身国と都市名を教えて下さい。
②日本に留学したいと思った理由を教えて下さい。
③日本の印象を教えて下さい。
④好きなことや特技を教えて下さい。
⑤これから留学しようと考えている学生へアドバイスをお願いします。

3M NG JIN YU（ジン ユー）

1. マレーシア・ジョホール
2. 日本に憧れがありました。
3. マレーシアは都市にしか電車がないし、よく遅れるので不便。日本は交通が便利。私が通っていた学校は小さなグランドだけで、運動道具（ボールやラケットとか）も無い。高専には、野球場とか体育館があってスポーツもできるし、実験施設もあって本当に便利だ。自動販売機の種類もいっぱいあるし、自転車の専用道路や駐輪場も整理されていて便利。だけど、果物が高い。冷たい日本人もいるけど、優しい日本人が思ったより多い。マレーシアは他人と入浴する習慣がないので、寮のお風呂が怖い！
4. 好きなことはたくさんあって、例えばアニメ、ギター、バイク。16歳からバイクの免許を持ってます！最近は動画を編集してＳＮＳにアップロードすることが好き。興味があれば私のインスタグラムを見てくれたら嬉しい！
5. 自信があれば何でもできるよ！って、冗談だよ。自信はかなり重要だけど、努力が一番大切なものだよ。やりたい夢があれば、そんなに深く考えずに行動してみよう！

↑マレーシアの有名な食べ物：Roti Tisu（ロティ・ティシュー ※とても薄いパンという意味）。マレーシア特有のインド系料理で、食べる時は、手でちぎって食べます（注意：写真を真似しないで下さい）。

←マレーシアで有名な果物：Durian（ドリアン ※果物の王様という意味）。危なそうな果物だけど、濃厚で甘く食感がクリーミーで本当においしいよ！

3I BAIGALMAA KHUVITUGULDUR（ホビト）

1. モンゴル・ウランバートル
2. モンゴルで日本式の高校に通っていたことがきっかけで「日本」という国を知り、そこにある技術や文化に魅力を感じて留学を志しました。

4. 高専に来てから学校のジムで筋肉トレーニングを頑張っています。私は運動が好きだし、ジムによって健康な体作りができると思って通い始めました。今は高専の優しい職員や教員の方々の指導のもとで学生の皆と仲良く日々を送っています。

3E DIAKITE OUSSEYNOU（ウセイヌ）

1. マリ共和国・バマコ（面積が日本の約３倍もある巨大な国です。西アフリカに位置し、アルジェリアやモーリタニアのような国々と国境を接しています。私が住んでいる首都バマコはマリ最大の都市です。）
2. 私はずっと一つの国に住んで育ったので、自国以外の異なる言語や文化を学ぶことに興味がありました。12歳のとき、私は空手クラブに入りました。空手は日本発祥の武道なので、初めて日本文化に触れました。それがきっかけで、日本への旅行にも興味を持つようになりました。さらに、日本の教育は世界でもトップクラスです。そのような環境で学位を取得すれば、最高のエンジニアリング教育を受けることができるのではないかと考えました。
3. 日本に対する私の印象はポジティブです。最も印象に残っているのは、人々が非常に礼儀正しくフレンドリーであることです。今はもう慣れましたが、最初の頃は店で従業員から受けた態度は信じられないもので不快に感じたこともありました。
4. 趣味は音楽を聴くこととスニーカーを集めることの2つです。運動神経は良い方なので、サッカーや空手もやっています。
5. 海外留学は人生で最も良い決断のひとつになるかもしれません。異国の地で一人になると、最初は頼れる友人も家族もいない自分一人だけの世界になります。しかし、苦難の時こそ自国にあるものを当たり前と思わず、感謝することを学ぶ経験にすることができます。

写真は、ラマダン（断食月）明けのイスラム教のお祝いであるイードの時に撮ったものです。マリでは国民の大半がイスラム教徒なので、私たちは伝統的な服を着て盛大にお祝いします。

3C NURR'IZZATI BINTI MOHAMMAD ZAMBREE（イッザティ）

1. マレーシア・ジョホール
2. 災害に強い日本の構造物や技術に興味を持ち、学びたいと思いました。
3. 日本はファッションや美術の面でも自分の感情を表現できると同時に、他者との違いを尊重し続けることができる国です。
4. 私はアンティーク、特に美術作品とミニチュアを集めることが好きです。音楽を聴いたり映画を観たりすることも好きです。
5. やはり文化や言語が違う外国へ進学するのは怖いと感じます。しかし、それは一時的なものなので、すぐに乗り越えられます。それよりも、多くの人と出会えるし旅行もでき、人生を最大限に楽しむことができます！！！

この橋は、イスラム文化を感じさせるデザインで建造されたスリ・グミラン橋です。夜になるとキラキラになって本当にキレイな橋で、観光名所になっています。

NEWS&TOPICS

国立高等専門学校機構学生表彰

電子情報工学科 WRO Future Engineers 出場チームが課外活動での活躍が認められ、国立高等専門学校機構理事長から表彰状を授与されました。

この表彰は、2022年11月17日～11月19日に、ドイツ・ドルトムントで開催された自律型ロボットによる国際的なロボットコンテスト WRO (World Robot Olympiad) 2022 のFuture Engineers部門で全24チーム中、10位となったことを受けてのものです。

競技の様子

出場者

石川高専、コマツ、クオリカDX人材育成の協力関係構築に関する協定を締結

2023年3月15日、コマツ（所在地：東京都港区 社長：小川啓之）とTISインテックグループのクオリカ株式会社（本社：東京都新宿区代表取締役社長：辻本誠、以下クオリカ）と、石川県における高度産業DX（デジタルトランスフォーメーション）人材の育成を目的に、「デジタルトランスフォーメーション人材育成に関する包括連携協定」を締結しました。

本協定は、石川高専が進めるDX人材の育成を、石川県が創業の地であるコマツとIT企業のクオリカが支援する産学連携の取り組みに関する包括協定です。

本協定を通じて三者は中長期的な関係を結び、それぞれの知識、技術、資源を生かし、主に石川県の企業への貢献につながる、より実践的なデジタル技術をもつ人材の育成を推進していきます。

左から石川高専 嶋倉 剛 校長、
コマツ 渕田 誠一 CTO（兼）開発本部長、
クオリカ 辻本 誠 代表取締役社長

第1回高専防災減災コンテストで「防災科研賞」を受賞！

2023年3月6日、防災減災に関わる社会課題を解決する技術のアイデアとその検証を行い、高専生の成長の促進と若い力による社会の災害レジリエンス向上に寄与することを目的とした第1回高専防災減災コンテスト最終審査会が東京国際フォーラムで開催され、本校の代表チーム（環境都市工学科5年 山本さん、寺崎さん、長田さん、元平さん）が出場し、「防災科研賞」を受賞しました。

集合写真

表彰式の様子

提案したハザード標識を貼っている様子

令和4年度運営諮問会議を開催

学外有識者による外部評価を行う運営諮問会議を2023年3月6日に開催しました。この会議は、本校の教育、研究、社会活動等を自己点検と評価に基づき、学外有識者による評価と提言から、今後の教育の改善、研究及び地域貢献の活性化を図ることを目的としています。

同会議には、大学や地域企業等の学外有識者6名と学校側から校長、副校長、主事等幹部教職員12名が出席しました。また、嶋倉剛校長の挨拶後、議長に金沢大学の森本理事（教育・高大院接続・大学院改革・情報担当）・副学長が選出されました。

議事に入り、嶋倉校長による学校の概要説明に続き、教育活動、学生指導、研究活動、地域貢献や国際交流等について各担当者による説明後、質疑応答や活発な意見交換が行われました。委員からは、多くの有意義な意見や提言が寄せられ、最後に森本議長から全体の講評が述べられました。

本校では、今回の貴重な提言を活かして一層の運営改善を行い、今後の研究活動の充実につなげていきます。

会議風景

森本 金沢大学理事・副学長

飯田 北陸先端科学技術大学院大学理事・副学長

石川高専と石川高専生協が「災害時における相互協力に関する協定」を締結

2023年3月24日、本校と石川高専生活協同組合は「災害時における相互協力に関する協定」を締結しました。

本協定は、本校と石川高専生活協同組合とが協力し、災害時に学生及び教職員等の被災者や帰宅困難者等に対し、飲料及び食料品、食堂、食器等の提供、緊急連絡網の構築、情報の相互共有、防災訓練等への参加等の整備・実施を通して円滑に被災者支援が実施できるようにすることを目的とするものです。

今回、締結するに至ったのは、昨冬12月の長時間に渉る広域停電の際に、石川高専生協から無償で食料等の提供を得たため、今後、災害時に備えて協定を締結することとしたものです。

石川高専生活協同組合は、全国国立51高専でも4つしかない生協の1つとして、平成16年に設置され、学生に対して福利厚生・教科書販売等を提供しています。

協定書の締結式には、石川高専生活協同組合側から船戸慶輔理事長（本校建築学科教授）、谷口修総括店長、石川高専側から嶋倉剛校長、冨田充宏副校長が出席し協定の締結を行いました。

併せて、石川高専生活協同組合から石川高専に対し、寄附金の贈呈があり、贈呈式が執り行われました。

協定締結式

寄附金贈呈式

左から冨田副校長、嶋倉校長、
船戸生協理事長、谷口生協統括店長

2023年度行事予定

4月

1-4	春季休業
5	入学式
6	前期授業開始, 新入生オリエンテーション
19	定期健康診断
21-22	１年生合宿研修
24	開校記念日

5月

3-6	閉寮
16	本科春季球技大会
17	専攻科入学者選抜検査(推薦)
20	寮生保護者懇談会
22-26	授業参観ウィーク

6月

1-4	高校総体
7-13	前期中間試験
18	専攻科入学者選抜検査(学力, 社会人)
26	北陸地区高専体育大会壮行会
26	文化部発表会
30-10月末	1～4年生保護者懇談会

7月

8-9	北陸地区高専体育大会
23	こども石川高専
31-8/4	前期末試験

8月

7	臨時休業日
10	前期授業終了
11-9/23	閉寮
14-9/22	夏季休業、4年生学外実習
18-19	体験入学
19-9/1	全国高専体育大会

9月

25-29	4年生研修旅行
28	2年生学外見学会
28-29	3年生合宿研修
30	前期終了

10月

2	後期授業開始
2	高専体育大会報告会
5-12/4	専攻科１年生長期インターンシップ
6	コンテスト激励会
11	本科秋季球技大会
14-15	全国高専プログラミングコンテスト本選
28-29	紀友祭, オープンカレッジ
29	全国高専ロボットコンテスト(東海・北陸地区大会)

11月

11-12	全国高専デザインコンペティション本選
26	全国高専ロボットコンテスト(全国大会)
30-12/6	後期中間試験

12月

15	企業技術説明会
23-1/7	閉寮
25-1/5	冬季休業

1月

13	本科入学者選抜検査(推薦)
27-28	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト本選

2月

6-9	５年生学年末試験
11	本科入学者選抜検査(学力)
15-21	１～４年生学年末試験
22	臨時休業日

3月

1	後期授業終了
2-3	閉寮
4-18	臨時休業
中旬	仮入学
19	卒業証書・修了証書授与式
21-31	学年末休業
22	教科書販売

※学科により日程が前後します

夏休み こども石川高専

参加無料

■**日程:2023年7月23日(日)午後** ※時間は学習テーマによって異なります。

■**会場:石川工業高等専門学校**(河北郡津幡町北中条タ1)

■**募集対象:小学校4年生～中学校3年生と保護者 184組**

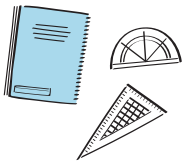
※小学生は保護者同伴必須です。
※中学生は保護者同伴が無くても参加可能です。

■**参加費:無料**

＼こども石川高専は石川高専Webからお申込みいただけます。／

URL https://www.ishikawa-nct.ac.jp/other/event/kodomo.html

■問合せ先　石川工業高等学校 総務課 企画・地域連携係
TEL 076-288-8017　FAX 076-288-8014　E-mail kikaku@ishikawa-nct.ac.jp



令和4年度 活動の記録

（学年は合格時、公表承諾者のみ掲載）

第二種電気工事士試験合格者

3E　今村、浦野、紙谷、小山、島田、新谷、久田、横山
4E　上前、佐々木、羽布津
5E　松崎、山﨑、梶井、南島

危険物取扱者乙種 第1類、第5類、第6類合格者

5E　宮丸

消防設備士乙種 第7類合格者

5E　宮丸

第三級アマチュア無線技士合格者

5E　山岸

情報処理技術者試験 基本情報技術者試験合格者

3I　河岸、北口、山田
5I　小上防、高峰、谷内田

CGクリエイター検定エキスパート合格者

5I　髙橋

情報セキュリティマネジメント試験合格者

5I　茶谷

情報処理技術者試験 ITパスポート試験合格者

4E　山口　　3I　福島

ディジタル技術検定試験 2級情報部門合格者

3I　石木、泉谷、河岸、北口、坂野、澤井、鷹野、西牧、福島、本田、山塚、山本（友）、KWEK YONG SING

ディジタル技術検定試験 2級制御部門合格者

4I　高本、寺岡、福島

ディジタル技術検定試験 3級合格者

3I　赤星、石田、稲荷、入澤、鵜飼、大場、叶田、近藤、桜井、宍戸、高、東藤、長野、長山、西出、廣澤、前田、水上、宮本、森田、守友、山岸、山口、山本（結）、吉田
5I　塩貝

技術士第一次試験（建設部門）合格者

4C　浅賀、受川、川端、木下、坂井、杉本、竹中、中川、御手洗、宮本、室谷
5C　片山、亀井、元平

二級建築士試験合格者

2AC　谷口、前川

2級建築施工管理技術検定 第一次検定合格者（2級建築施工管理技士補）

4A　金子、黒田、澤田、立浪、寺内
5A　池、川端、竹、松島、三井

インテリアコーディネーター資格試験合格者

3A　本馬

色彩検定 2級合格者

4A　寺尾

実用英語技能検定試験 英検準２級合格者

2E　片山

実用英語技能検定試験 3級合格者

3E　竹田

日本漢字能力検定 ２級合格者

3E　松本

日本漢字能力検定 3級合格者

3E　竹田

令和5年度 学生役員

学生会

会　長	4C	竹中
副会長	4I	近藤
	3I	太島
監　事	4C	織田
	2E	老子
会　計	3I	宮本
	2I	後谷

第58回 紀友祭実行委員会

委員長　5E　田井中

前期寮生会

総代	4I	河岸	海寮長	4I	鵜飼	会計	3A	奥村
副総代	4I	鵜飼	山寮長	3M	田中		3A	早瀬
	4C	永原	中寮長	3A	奥村	広報	3M	田中
			宙寮長	4C	永原		3C	中江

DATA BOX 2023

役職員名簿

役職員

校長	嶋倉　剛
副校長（管理運営）	冨田　充宏
副校長（地域・国際連携）	道地　慶子
教務主事	義岡　秀晃
学生主事	畔田　博文
寮務主事	岩竹　淳
図書情報主事／図書館長	佐野　陽之
専攻科長	山田　悟
校長補佐（入試広報担当）	徳井　直樹

電子機械工学専攻主任	岡本　征晃
環境建設工学専攻主任	新保　泰輝
情報戦略基盤センター長	松本　剛史
情報戦略基盤センター次長	東　亮一、川除佳和
トライアル研究センター長	熊澤　栄二
トライアル研究センター次長	重松宏明、越野　亮
技術教育支援センター長	冨田　充宏
学生相談室長	佐々木香織

学科主任

一般教育科	冨山　正人
機械工学科	堀　純也
電気工学科	上町　俊幸

電子情報工学科	長岡　健一
環境都市工学科	津田　誠
建築学科	村田　一也

学級担任

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生
機械工学科	小林　竜馬 8125	吉江　佑介 8052	池田　生馬 8090	長谷川雅人 8097	倉部　洋平 8098
電気工学科	森田　健二 8062	河合　秀泰 8058	田中　文章 8114	河合　康典 8110	東　亮一 8111
電子情報工学科	川畠　嘉美 8056	南　雅樹 8060	山田　健二 8143	山田　洋士 8136	嶋田　直樹 8131
環境都市工学科	西村　知修 8072	香本　直子 8069	大橋　慶介 8164	髙野　典礼 8160	寺山　一輝 8161
建築学科	北田　耕司 8065	永井　隆之 8071	小川　福嗣 8186	豊島　祐樹 8182	森原　崇 8185

（注）各教員室の電話はダイヤルインです。076-288 のあとに、上表の 4 桁の番号をダイヤルしてください。

課外活動指導教員名簿

運動部

サッカー	★松本　剛史	冨田　充宏	河合　秀泰
	和久井健吾		
男子バスケットボール	★岡本　征晃	山田　健二	田中　文章
	池田　生馬		
女子バスケットボール	★寺山　一輝	山田　悟	熊澤　栄二
野球	★北田　耕司	川除　佳和	★徳井　直樹
	穴田　賢二	寺本　裕志	永井　隆之
	大橋　慶介		
卓球	★任田　崇吾	藤岡　潤	山崎　梓
	吉江　佑介	新保　泰輝	瀬戸　悟
柔道	★畔田　博文	越野　亮	前田　健児
ソフトテニス	★川畠　嘉美	森原　崇	石田　博明
	小川　福嗣	山下　順広	

テニス	★河合　康典	佐野　陽之	冨山　正人
	小村良太郎		
剣道	★山田　洋士	秦　明日香	山下　順広
	佐々木香織		
男子バレーボール	★豊島　祐樹	村田　一也	義岡　秀晃
女子バレーボール	★森田　健二	上町　俊幸	
陸上競技	★岩竹　淳	古崎　広志	小林　竜馬
	南　雅樹	恩村　定幸	西村　知修
バドミントン	★長岡　健一	髙野　典礼	倉部　洋平
	小杉　優佳	モアナヌ チャールトン ビル	
水泳	★矢吹　明紀	長谷川雅人	
ワンダーフォーゲル	★團野　光晴	冨山　正人	重松　宏明
ハンドボール	★東　亮一	津田　誠	長谷川雅人
	川原　繁樹		

文化部

美術・デザイン	★紺谷　雅樹	豊島　祐樹	服部　多恵
写真	★義岡　秀晃		
吹奏楽	★船戸　慶輔	佐々木香織	
英語	★香本　直子	西村　知修	鬼頭　美帆
建築研究	★内田　伸	道地　慶子	

電子情報研究	★越野　亮	小村良太郎	任田　崇吾
環境都市研究	★重松　宏明	髙野　典礼	
茶道	★堀　純也	吉本　弥生	
ロボット研究	★嶋田　直樹	藤岡　潤	穴田　賢二
	池田　生馬	石田　博明	堀　純也
	矢吹　明紀		

同好会

ダンス	★佐々木香織	軽音楽	★恩村　定幸	将棋	★越野　亮

★は、第一顧問です

［校章の由来］

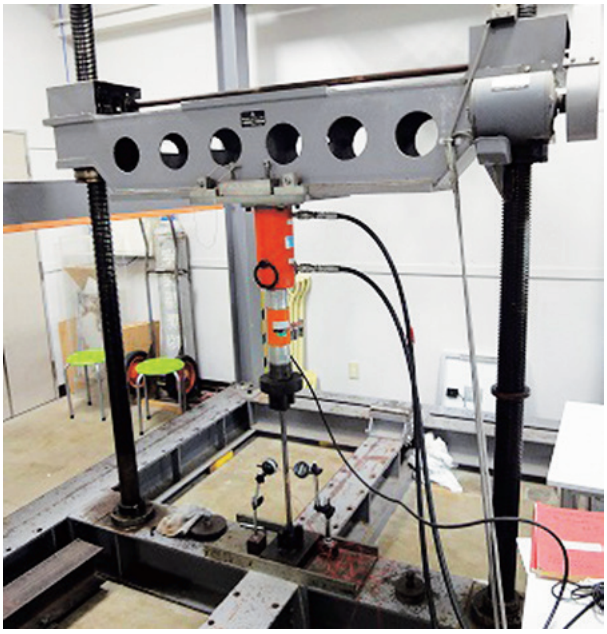
「石川高専」であることを明確に打ち出したもの、というアピール性に眼目をおいて「高専」の文字を「石」と「川」で両側から円形に囲み、創造と協調の精神が生きたわかりやすいものにした。

（当時 金沢美大教授であった 故 板坂辰治先生のデザイン）

石川高専のたからもの Vol.27

構造物静的載荷試験装置

環境都市工学科　冨田　充宏



電気・環境都市工学科棟１階の水質・水処理実験室の奥に、1983年（昭和58年）に設置された㈱マルイ製造の試験装置です。鋼製のI型はりのたわみの実験、鋼製のラーメンの変形の実験、座屈の実験など、現在も3年生と5年生の環境都市工学実験で活躍しています。新しい万能試験機が設置されるまでは、鉄筋コンクリートはりの曲げ破壊実験も実施していました。

手動の油圧ジャッキを用いて、荷重を載荷させ、油圧ジャッキのゲージで荷重の値を測定します。また、ダイヤルゲージによる変形量と静ひずみ計によるひずみの値を測定します。

非常に旧式な試験方法ですが、構造物の変形を実際に観察できる貴重な試験装置です。

編集後記

年度初めの授業開始日に全校集会があり、4年ぶりに本科全学生（約1000名）が対面で集まりました。その光景に思わず「あ～、久しぶりだな」と呟いてしまい、隣にいた先生と一緒に苦笑してしまいました。また、やはり4年ぶりに4月の新入生研修が合宿形式で行われ、野外活動などを楽しむ学生の様子を見て、やっと本来の活動が戻ってきたことを実感しました。コロナ禍による様々な行動制限がほぼ無くなり、心理的な解放感とともに、本校の本来の活動が戻ってきました。今年度の高専だよりでは、それらの記事をたくさん掲載していけることを楽しみにしています。

古紙配合率80%再生紙と大豆油インキを使用し
環境に優しい「水なし印刷」を採用しました。

編　集：石川工業高等専門学校　広報委員会
発　行：石川工業高等専門学校　総務課総務係

〒929-0392　石川県河北郡津幡町北中条タ1
[TEL]076-288-8000　[FAX]076-288-8014
[E-mail] s-somu@ishikawa-nct.ac.jp
[URL] https://www.ishikawa-nct.ac.jp/